

鳥取北ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2025 ▶ 2026

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

● 会長……田村 博 信 ● 副会長……………森下 泰 年

● 幹 事……笹野 眞 紀 ● 会 計……………入江 容 子

● SAA……谷口 昭 二 ● 広報・プログラム委員長…堀 いづみ

■ 創 立: 昭和36年2月23日

■ 事務所: 鳥取市蔵町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル HP: <https://kitarc.jp/>

E-mail kitarc@eagle.ocn.ne.jp Tel.24-3536 Fax.29-6741



本日の例会

2026年1月27日(火)

席くじ

第3089回

◆鳥取県民歌

◆卓話

◆献立 和食

米山記念奨学生

◆委員会事項

部 帥龍さん

入会記念日御祝

※例会終了後、2月理事会
1F「梨花の間」

次回の例会

2026年2月14日(土)

第3090回

◆君が代・奉仕の理想

◆創立65周年記念夜間例会

◆献立

高知北RC交流例会

パーティー料理

18:00 ~ホテルモナーク鳥取

先週の例会

2026年1月20日(火)

会長挨拶

暦の上では本日から大寒。二十四節気の最後であり、最も冷え込む季節と言われています。予報では、その謂われ通り厳しい数日になりそうですが、春伸びる前に少し縮むときと割り切りたいと思います。数年前までは暦をあまり気にしませんでした。古稀に近づくにつれ少しずつ興味がわいてきました。最近、国内では四季が二季になったと言われますが、それでも二十四節気が都度都度そのときの季節感を表していると感心しています。

さて、今月7日からスタートしたNHK大河ドラマ「豊臣兄弟」ですが、弟秀長の目を通してみた秀吉など戦国武将を描くようです。毎年この時

期には、その年の大河ドラマを特集した雑誌が書店に平積みされます。先日訪れた書店にもやはり十種類くらいの特集雑誌がありました。たまたま手にしたのが「歴史人」の2月号、ページをめくると、巻頭に「再発見ニッポンの歴史を旅する」とのテーマで、鳥取城跡にかかる記事等が5ページにわたり掲載されてました。昨年「中ノ御門」が復元されましたが、今後整備事業計画を修正し、結果として前倒しするとの話も漏れ聞きます。記事の中で、鳥取市教育委員会の方が「地域のみなさまのご理解も重要です」とおっしゃっていましたが、加えて私共市民の「熱意」も必要と感じた次第です。

幹事報告

1 到着文書

1) 坂口ガバナー事務所より

・ガバナーノミニー・デジグネート候補者

原田 明成氏の信任状が届く

・2026年度米山記念奨学生

世話クラブのお願い

2) 米山記念奨学会より、ハイライトよねやま310号

2 例会変更・メークアップ情報 なし

3 その他連絡事項

・会費の請求書1~3月をBOXへ配布

・2/14(土) 創立記念例会・高知北交流会の

締切り1/27(火)

・2/27(金) 東部5RC合同例会締切り1/27(火)

委員会報告

◎出席率報告

1月20日 会員42名中 出席28名 出席率66.7%

◎会員増強委員会 松本啓介委員長

1月になりました。下期もご協力よろしくお願いします。

◎国際奉仕委員会 水野治郎委員長

米山記念奨学会とR財団寄付のご協力宜しくお願い致します。

スマイル報告

(本日12,000円 累計425,740円 前回 413,740円)

田村博信さん 青木様、本日の卓話楽しみにしています。今日から大寒、天気予報も厳しそう。

森下泰年さん 青木様、本日の卓話宜しく願い致します。町内会長の任期が今月末です。今週の総会で無事、次の方へバトンタッチできる見込みです。

笹野眞紀さん 青木様、今日はお世話になります。今日は大寒です。本当に寒い1日になりました。先日の2次会では大変お世話になり、有難うございました。

堀いづみさん 青木様、本日の卓話楽しみにしていました。よろしくお願いします。

圓井貴志さん 先週の夜間例会を欠席し、家内と出掛け、高速道路で警察のお世話になりました。これから大雪の予報です。皆様、安全運転にはお気を付けください。

山根京子さん 新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。先週は胃腸炎で熱が出て、欠席して申し訳ありません。

早退 2件

※2大御祝(本日0円 累計68,000円 前回68,000円)

卓話「戦場写真家が創る未来」

写真家 青木 弘 氏

【青木弘氏のご紹介】

- ・写真家として10年以上中央アフリカの紛争地域に関わる
- ・目的-「未来を作る」活動に取り組むこと



【卓話のあらすじ】

1. 中央アフリカの現状と背景

- ・具体的な国名は明言されていないが、アフリカ大陸のど真ん中に位置
- ・日本の影響や歴史も触れ、現地の情報が入らない状況
- ・宗教対立(キリスト教とイスラム教)やダイヤモンドや権益の権力争いが複雑
- ・映画『ブラッドダイヤモンド』なども紹介し、紛争の実態を伝える

2. 活動のきっかけと理念

- ・出会った人物(リチャード氏)との交流を通じ、深い信頼と絆ができる
- ・この人物の勇気と命の大切さに感銘を受け、彼を中心に平和プロジェクトを始動

・宗教や民族を超えて協力できる象徴としての養鶏場(養鶏事業)を提案および実施

3. 具体的な活動内容と成果

- ・土地購入、養鶏場建設(2019年完成)
- ・インフラ整備、水確保、コミュニケーションのための交渉と実践
- ・宗教や民族を超えた協力と共生のモデル作り
- ・地元の人々の信頼獲得と、現地のリーダーたちとの協力
- ・ひよこの死亡率と医療・管理の工夫、命の大切さを学ぶ

4. 活動の理念と未来展望

- ・「あなたにとって何ができますか?」を問いかける
- ・自分だけの行動や思いを持つことが未来の平和につながる
- ・この活動は「大河ドラマ」のように続き、ハッピーエンドを目指すもの
- ・ロゴには「あなたの想いを呼び込む」意味が込められている

【まとめと総括】

青木弘氏の活動は、一人の勇気ある人物と出会い、そこから始まる継続的な平和活動が戦場や紛争地域においても、「命と平和」をテーマに、個人の勇気と行動で未来を変えることができるということを証明されています。

青木氏の語るストーリーは、単なる援助や支援に留まらず、地域の人々とともに「未来を作る」という姿勢の重要性和、どんな小さな行動でも「自分にできること」を問い続けることの大切さを強調しています。私たちも、自分にできることを考え、宗教や文化背景などの多様な背景を越えた協力の可能性を思い描くことが求められています。



(担当 堀いづみ)